

## 基本計画部会の審議事項に関するご意見とその対応案

提出委員：白波瀬委員

項 目：人口動態調査

〈ご意見〉

- ・人口動態調査に関しては、未諮問基幹統計審議において、情報提供の充実等が指摘されており、その対応状況を十分に確認した上で、次期基本計画に盛り込むべき課題が残されていないかを検討することも必要である。

提出委員：関根委員

項 目：第3次産業活動指数

〈ご意見〉

- ・当該事項の取組の進捗状況については、「3次指数の作成に用いる一次統計データの充実が進んでいない状況であり、更なる精度向上は難しい状況である。こうした状況を踏まえ、基幹統計化はできないとの結論に至った」との記載にとどまっている。一方、平成27年度統計法施行状況に関する審議結果報告書（平成28年度上期審議分）において、「サービス統計の体系的な整備において大変重要な位置付けにある本統計においても精度や利便性の向上など統計の有用性の更なる向上を継続的に図っていくことが望まれる」とも記載されている。第Ⅲ期の基本計画においては、こうした当該統計の精度や利便性の更なる向上を継続的に図ることの趣旨が盛り込まれる必要があると考えているが如何。

提出委員：西村委員

項 目：港湾統計

〈ご意見〉

- ・現在、遅れている港湾調査の月報の集計結果の公表時期の早期化目標（2か月後）を、いつ、どのように達成するのか。また、NACCS 情報を活用して、外国貿易貨物情報を更に早期に公表することはできないか。
- ・現在、港湾統計で、TEU（コンテナの長さ 20 フィートを 1-TEU と標準化して貨物量を表す単位）を使用しているのか。コンテナ以外の貨物に TEU を用いている国はあるのか。港湾統計の単位を TEU に変換する必要性についてどのように考えるか。
- ・一部の港湾管理者においては、航路別集計をしているが、港湾統計では航路別集計を出す必要性はないのか。

以上の意見は、該当するWGにて審議することとする。